

(3) 令和4年度 重要文化的景観に係る事業について

1. 『整備活用計画』について

文化的景観の保護及び地域の魅力の再発見のため、建造物、河川、道路等の修理・修景等の整備活用の具体的施策を事業計画として示した。

計画期間：令和2年度から令和11年度まで(10年間)。



2. 令和4年度「重要な構成要素」建造物の整備事業(間接補助事業)について

令和2年度策定した『整備活用計画』のもと、「重要な構成要素」建造物の維持及び景観保全のため、整備事業(間接補助事業)を実施した。国及び県の補助事業を活用。

(参考) 整備事業で実施された改修工事の内容

整備事業① 総宮神社/幣殿及び瑞垣屋根修繕工事

工事期間 R4.9/1~R5.3.20 補助金 5,362 千円(事業費 7,150 千円)

幣殿及び瑞垣の屋根の錆やタン剥がれが生じ内部にも雨漏りが生じていた状況。屋根の葺き替え及び野地板等張替え、構造体の木部の破損箇所を修繕。

【修繕前】



【修繕後】



整備事業② 質上醤油店/敷地北側板塀補修工事

工事期間 R4.10/5~R5.1.23 補助金 1,452 千円(事業費 1,937 千円)

経年劣化に加え強風により一部倒壊し、基礎部のひび割れや傾きが生じていた状況。北側隣地が空き地となっており周辺の景観との調和に配慮した色合いや塗料を検討し修景整備を実施。

【修繕前】



【修繕後】



3. 令和4年度 き損・現状変更届について

今年度は、「まちなみ」を含む「重要な構成要素」において、今年度提出されたき損及び現状変更の届出は以下のとおり。

- 現状変更届① 長遠寺 (R4.4/28 申請)
トイレ移設等の内部改変に伴い、庫裏玄関部と中玄関を再整備。
- き損届① 質上醤油店 (R4.6/2 申請)
5/28 発生した強風により敷地北側に設置している板塀の一部と出入口扉の破損。
- き損届② やませ蔵 (R4.4/13 申請)
冬季降雪による、店蔵乾蔵雨樋、座敷蔵下屋、母屋東屋根、土蔵下屋の雨樋等の破損。

4. 令和4年度 普及啓発事業について

① 重要文化的景観コーディネーターの配置と活動について

- ・ 委託先：工藤建築研究所 工藤裕太氏
- ・ 委託期間：R4.4/1～R5.3/31
- ・ 主な活動内容：文化的景観をテーマとしたワークショップの企画、実施、散居集落での勉強会に関する企画実施、市内外向けに文化的景観に関する情報を発信。

② ワークショップ「平野の風景を歩こう」

- ・ 開催日：R4.9/4(日) 9:00～12:30
- ・ 開催場所：平野コミュニティセンター 他
- ・ 参加者：27名
- ・ 講師：東北芸術工科大学 志村直愛教授、渡部桂教授



③ ワークショップ「平野さんきょ探偵団」

- ・ 開催日：R4.10/1(日) 9:00～12:00
- ・ 開催場所：平野小学校 他
- ・ 参加者：79名
- ・ (平野小学校6年児童31名、保護者等41名、他)
- ・ 講師：東北芸術工科大学 志村直愛教授、渡部桂教授



④ パネル展「平野で見つけた風景」

- ・ 開催日：R4.11/11(土)～11/13(日)
※以降、館内ホールに場所を移設市掲示。
- ・ 開催場所：平野コミュニティセンター

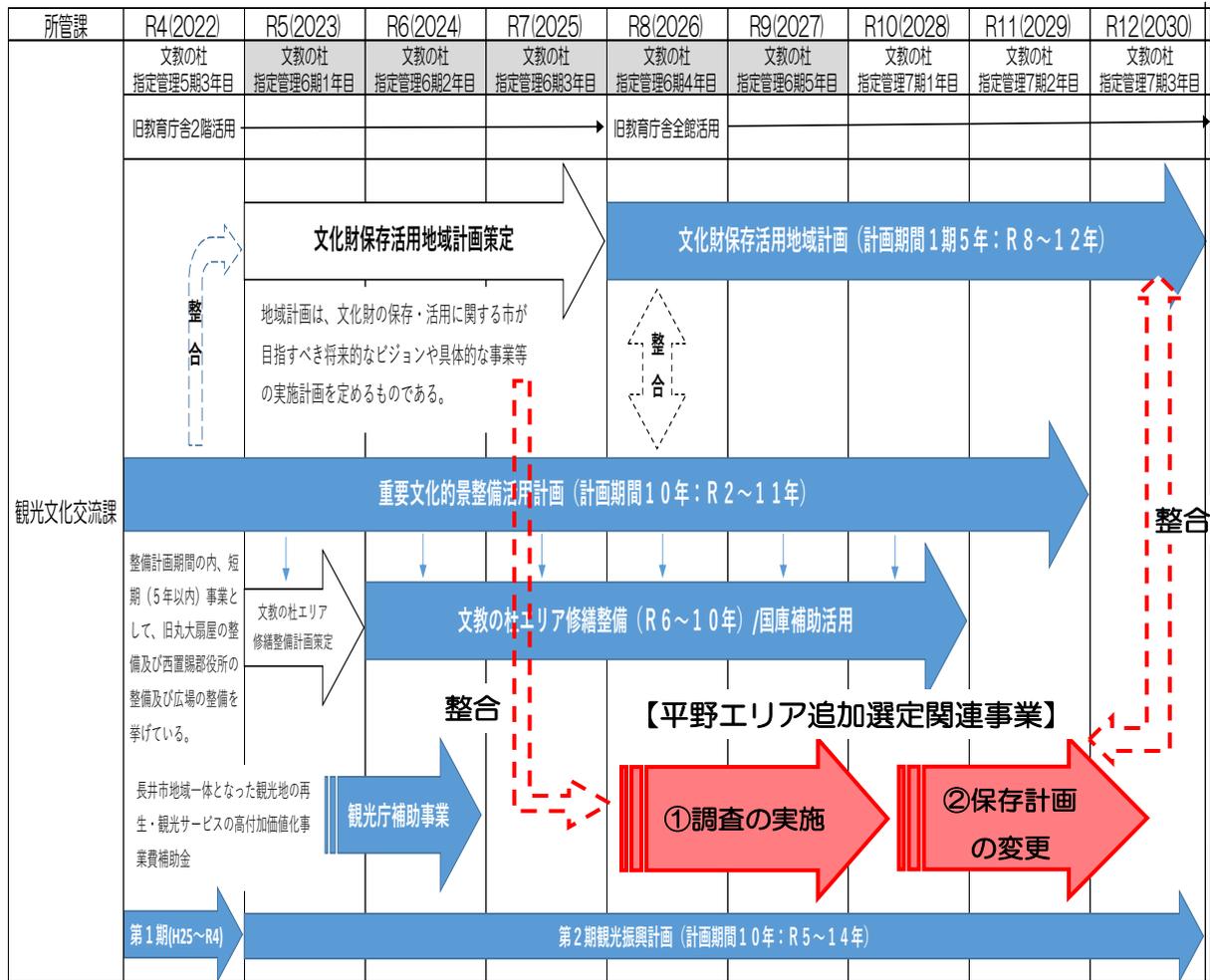


⑤ 「第2回平野の魅力を語ろう！～水でつながる散居と町場」

- ・ 開催日：R5.3/11(日) 10:00～12:30
- ・ 開催場所：平野コミュニティセンター
- ・ 参加者：30名
- ・ 講師：東北芸術工科大学 志村直愛教授、渡部桂教授

5. 令和5年度以降の事業について

平成30年2月に町場エリアが国の重要文化的景観に選定されたが、野川上流部の平野エリアに散居集落の特徴的な景観が広がり、町場の発展と綿密につながりが深いことから、文化的景観の追加の候補地として検討を進めている。



- ① 平野散居エリア追加選定に向けた調査の実施・・・令和8～9年
 - ・ エリア範囲の設定
 - ・ 構成要素の洗い出し、意向確認
 - ・ 地区および所有者の同意取り付け
 - ・ 地区向けの周知

- ② 保存計画の変更・・・令和10～11年
 - ・ 計画エリア範囲の再設定
 - ・ 構成要素の追加
 - ・ 既存計画内容の変更（追加に合わせた内容に変更）
 - ・ 関連計画との整合調整
 - ・ 関連機関との調整
 - ・ 名称の検討